



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年10月号](#) 平成27年10月号 市民安全課通信

平成27年10月号 市民安全課通信


ページ番号188297

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年10月1日

◆市民安全課通信◆◆

## イザ！カエルキャラバン！in京都市市民防災センター

～楽しみながら防災について学ぼう！～



◆◆市民安全課◆◆



平成27(2015)年9月6日、京都市消防局では、将来の地域防災の担い手である幼少年の防火・防災教育を充実させるとともに、その保護者である子育て世代の災害対応力の向上を図るため、楽しみながら防災について学ぶイベント「イザ！カエルキャラバン！in京都市市民防災センター」を開催し、約1,400人の方に参加いただきました。

【イザ！カエルキャラバン！】とは

NPO法人プラス・アーツが提唱する、次世代を担う子どもを中心とした若いファミリーを対象に、震災時に必要な知恵や技を身につけてもらうために楽しみながら防災を学ぶことをテーマにしたイベント。阪神・淡路大震災の被災者の教訓を基に開発した防災体験プログラムとおもちゃの物々交換プログラム「かえっこバザール」（防災体験プログラムの体験を促す仕掛け）が一体となったもので、プログラムを体験するとおもちゃと交換ができるカエルポイントがもらえるため、子どもたちはより多くのポイントを集めようと、繰り返しプログラムを体験し、積極的に防災を学ぶことができる。

①



いらなくなったおもちゃを受付「かえっこバンク」に持って行くと「カエルポイント」に換えてくれる。

②



「ショップ」に行くと、換えたポイント分のおもちゃと交換（かえっこ）することができる。

③



カエルポイントがなくなったり、おもちゃを持ってきていない子どもたちも「防災プログラム」を体験することで新たにポイントがもらえる。

④



貯まった「カエルポイント」で、人気の高いおもちゃが並ぶ「オークション」に参加することができる。

### 防災体験プログラム

今回の京都市市民防災センターで行った防災体験プログラムは、NPO法人プラス・アーツが提唱するプログラム以外にも、京都市消防局独自のプログラムや都市計画局、上下水道局のプログラムを含めて20の体験プログラムを行いました。参加者には、それぞれのプログラムを体験したり、その習熟具合によって1点から3点までのポイント交換券が付与されます。



#### ① おもちゃの受付 かえっこバザール・オークション

いらなくなったおもちゃを「かえっこバンク」に持って行き、「カエルポイント」に換える。「ショップ」に行くとポイント分の好きなおもちゃと交換（かえっこ）できるほか、たまったポイントで「オークション」参加することができる。



#### ② 水消火器でのあてゲーム

ストラックアウトや火を模した的を使用して、ゲーム形式で消火器の使い方を学ぶことができるプログラム



#### ③ ジャッキアップゲーム

地震直後の救助の際、重いタンスなどの転倒物を持ち上げ、下敷きになってしまった人を助けることができる有効な道具「ジャッキ」の使い方を学ぶプログラム



#### ④ 毛布で担架タイムトライアル

身の回りにある毛布で応急的に担架をつくり、けが人を搬送する方法を学ぶことができるプログラム



#### ⑤ 応急手当ワークショップ

緊急時に身の回りのもののできる、簡単なけがの応急手当について学ぶプログラム



#### ⑥ 応急手当指導

子どもとその保護者、小学生以上は本人が、救急人形を使用して胸骨圧迫について学ぶプログラム



#### ⑦ 防災人形劇「おたま劇場」

「避難リュック」をテーマにした、おとぼけ者のお父さん「カエル」と、しっかり者の息子「おたま」による人形劇を通じて、非常持出し品について学ぶことができるプログラム





#### ⑧ 持出し品なに？クイズ

非常持出し品12品目をクイズ形式で覚えることができるプログラム  
持出し品の役割や備蓄についての知識を学ぶことができる。



#### ⑨ 紙食器をつくろう 新聞紙スリッパをつくろう

地震で、ガラスや食器が割れたときや水道が止まって食器が洗えないときに役立つ、新聞紙や不要チラシを利用して簡易な食器、スリッパを作る方法を学ぶプログラム



#### ⑩ 防災カードゲーム「なまずの学校」

紙芝居形式で出題される、震災時の様々なトラブルについて、手持ちのアイテムカードで解決方法を考えながら学ぶことができるプログラム



#### ⑪ お宝さがしゲーム

各フロアに隠されたプラスチック製カプセル（防災クイズが書かれたメモ入り）を見つけ、受付でクイズに答えることができればポイントがもらえるプログラム



#### ⑫ 防火衣着装訓練

現役消防士と子どもたちとで防火衣の着装訓練を行い、消防士より着装が速かった場合にさらにポイントがもらえるプログラム



#### ⑬ ロープワーク体験

本結び、巻き吊り結び、もやい結びなど、救助の際や避難生活で役立つロープワークを学ぶプログラム



#### ⑭ 消防音楽隊ミニコンサート&パネルシアター

消防音楽隊の演奏とパネルシアターを鑑賞して、火災予防や防災について楽しく学ぶプログラム



⑮ クイズで学ぼう 暴風雨ってどんなもの？

暴風雨に関するクイズを通じて対策などを学ぶプログラム



⑯ 大型はしご車の展示 消防士に変身コーナー

南消防署の大型はしご車を展示車両として使用し、その前で子ども用防火衣、救助服、救急服を着装して記念写真を撮影するプログラム（残念ながら、9月6日は雨のため、大型はしご車の展示は中止しました。）



⑰ 消防訓練・救助訓練の見学

消防隊・救助隊の訓練を見学することにより、消防に、より親しみを持ってもらうとともに、火災予防の啓発を実施するプログラム（残念ながら、9月6日は雨のため、消防訓練・救助訓練の見学は中止しました。）



⑱ 防災センターのプログラム

映像体験や地震体験、強風体験、避難体験、消火訓練、地下街の恐怖体験コーナーを体験した場合にポイントがもらえるプログラム



⑲ 体験・耐震・匠技

住まいの耐震に関する相談会や京町家ミニハウスの組立体験を行うプログラム



⑳ イザ！水のクイズ！

水の備蓄に関するクイズ3問に答え、備蓄について啓発を行うプログラム  
正解すれば、景品に「京の水道 疏水物語（京都市上下水道局作製の災害用備蓄飲料水。490ミリリットルボトル缶入り）が1本もらえる。

「イザ！カエルキャラバン！ in京都市市民防災センター」を実施するに当たり、7月24日と8月21日の2日間、NPO法人プラス・アーツ指導の下、イベントに参加する各署の防災指導員を対象に事前研修を行いました。

また、「イザ！カエルキャラバン！」当日には、南消防団や京都学生消防サポーター、都市計画局、上下水道局、京都学生FAST、京エコロジーセンターなど、多くの方々に御協力をいただき、雨天にもかかわらず、多くの参加者がお越しくださいました。これまで、地域の防災訓練に参加されることが少なかった働き盛り世代と将来の地域防災の担い手となる子どもたちに、楽しみながら防災を学んでもらえたのではないかと思います。

「イザ！カエルキャラバン！」は、神戸で平成17(2005)年に誕生してから、全国各地の地域の方々が主体となって取り組んでおり、現在では、海外にも広がっています。京都市においても、これまで、左京区の総合防災訓練や下京区の大阪ガスショールームでの訓練に取り入れられた実績がありますが、京都市消防局で実施したのは、今回が初めてです。この「イ

ザ！カエルキャラバン！」を、幅広い世代の方々に楽しみながら防災を学んでもらうきっかけとして、参考にいただければと思います。

今回のイベントを実施するに当たり、購入した「カエル人形」や「カエルの的」など、使用した資器材は市民安全課で貸出しの受付を行いますので、消防職員、消防団員の皆さん、各学区で実施される防災訓練などでどんどん活用してください。



平成27年  
10月号目次

#### お問い合わせ先

京都市 消防局 消防学校 教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)



## 平成27年10月号 教養課通信1

ページ番号 189090

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート

 シェア

2015年10月1日

### ❖❖ 教養課通信 1 ❖❖

## 水災害に関する技能を習得し、防災指導能力を向上させるため 特別教育（水災・水防工法）を実施

❖❖ 消防学校 教養課 ❖❖



教養課では、職員に、近年多発する水災害に関する基礎的、専門的技能を習得し、防災指導能力を向上させるため、警防計画課等と連携して、特別教育（水災・水防工法）を実施しました。

7月6日には、京都大学防災研究所流域災害研究センターにおいて専門家による講義を受けた後、同センターのオープンラボラトリーにおいて訓練を行いました。

また、8月27日には、消防学校において水災害の基礎知識と警防態勢についての講義、水防工法及び流水域での歩行訓練を行いました。

#### 7月6日 風水害・都市型水害・土砂災害に関する専門的知識の習得及び流水域での救出訓練を実施

(京都大学防災研究所 流域災害研究センター オープンラボラトリー)



#### 8月27日 水災害の基礎的な知識の習得及び水防工法、流水歩行体験訓練を実施

(消防学校)


 平成27年  
 10月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

 役に立った   
 どちらともいえない   
 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

#### お問い合わせ先

---

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

---

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

## 平成27年10月号 教養課通信2

ページ番号 189034

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート

 シェア

2015年10月1日

教養課通信 2



### 専科教育・危険物課程を実施

消防学校 教養課

8月24日～28日

#### (一財)全国危険物安全協会による講義



京都市消防学校では、今年度から専科教育・危険物課程を実施し、京都市消防局12名及び京都府内消防本部17名の職員が受講しました。

本課程では、危険物行政における許認可等の規制や違反処理を適切に処理できるよう基礎的かつ実践的な教育を行い、受講者の火災予防及び災害対策上必要な専門的知識及び技術の習得を図りました。

本課程の講義・実習には、当局予防部員のほか、危険物に関する専門家や企業の皆様に御協力いただき、充実した研修となりました。

#### ナカライテスク株式会社による危険物化学の講義・実習



テルミット反応



小実験



第3類燃焼実験



第4類燃焼実験



株式会社太陽コーポレーションによる移動タンク貯蔵所の実習



京都市廃食用油燃料化施設での講義・実習



新日本理化学株式会社京都工場での実習



京都市消防活動総合センターの各施設を活用した査察・違反処理の実習





このページに対してご意見をお聞かせください

---

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

---

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

---

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

## 平成27年10月号 わが社の防火防災自慢

ページ番号188298

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2015年10月1日



## わが社の防火防災自慢

## 受け継がれてきた「愛山護法」の想い

浄土真宗本願寺派（西本願寺）

所務部&lt;文書担当&gt;部長 東森 尚人 氏



## 本願寺と境内建物の歴史

本願寺は、親鸞聖人を宗祖とする浄土真宗本願寺派の本山です。その歴史は、文永9(1272)年に京都・東山に親鸞聖人の影像を安置し、遺骨を移した大谷廟堂から始まります。南北朝の動乱や織田信長との11年にわたる石山合戦など、時代の情勢や火災などによる境内建物の焼失、寺基の山科や大阪、和歌山などへの移転もありました。そして、天正19(1591)年に、当時の宗主 顕如上人(けんによしょうにん)が寺基を移すことを定め、豊臣秀吉の寺地寄進によって、現在の堀川花屋町に寺基を定めました。さらには、慶長7(1602)年に東本願寺(真宗大谷派)が別立し、その位置関係により、当寺は「西本願寺」と通称されています。

その後も、慶長元(1596)年の大地震による御影堂(ごえいどう)と諸堂舎の倒壊、元和3(1617)年の失火による両堂、その他の焼失がありましたが、寛永13(1636)年には御影堂、宝暦10(1760)年には阿弥陀堂が再建され、現在に至っています。

本願寺は、信仰の中心として、国内外の僧侶や門信徒によって支えられ、その都度、建物は再建され、浄土真宗の教えと寺は懸命に守られてきました。境内には阿弥陀堂、御影堂のほか、唐門や書院、飛雲閣、さらには典籍類など、国宝や重要文化財を数多く所蔵し、平成6(1994)年には「古都京都の文化財」として「世界遺産」にも登録されました。

## 防火に対する意識と設備

私たちの防火・防災への取組は、ここ、本願寺が親鸞聖人の「み教え」「お念仏」を喜ぶ人々のこころのよりどころであり、浄土真宗の教えと本山本願寺を護り伝える「愛山護法」の精神を脈々と受け継ぎ、次の世代へつなぐ役割を担っています。

歴史の中には、そのことを今に伝える伝承や文書があります。

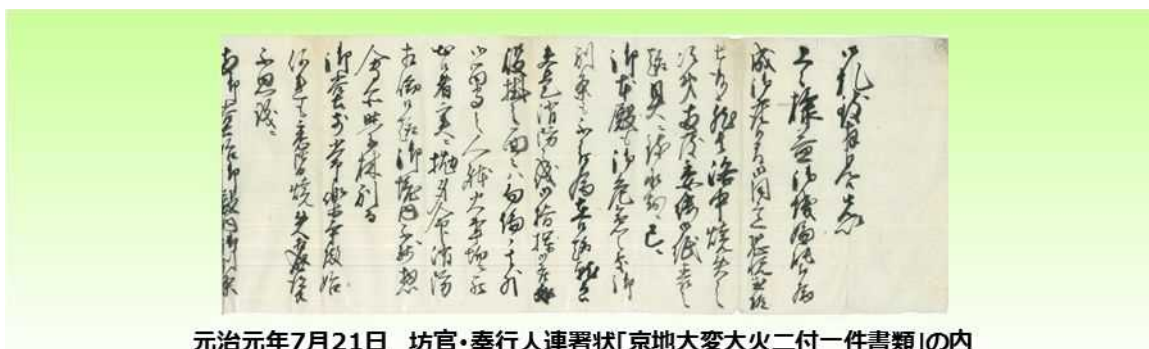
天明8(1788)年に京都に大火が起こり、本願寺にも迫りましたが、被害は最小限に抑えられました。御影堂の前に立つ「逆さイチヨウ」といわれる大きなイチヨウの木が勢いよく水を噴いて、両堂を火の手から護ったと伝えられており、このイチヨウは別名「水噴きのイチヨウ」と呼ばれています。実際には、勢いよく水を噴き出すことはなかったと思いますが、本願寺を護ろうとされた先人の苦勞や使命、責任が、燃焼性の低いイチヨウを通して、今の私たちへの防火に対する戒め・教訓として伝えられてきたのでしょう。



御影堂と逆さイチヨウ



また、元治元(1864)年の大火に関する文書も保管されています。本願寺の僧侶による状況報告ですが、人々が「抛身命(しんめいをなげうって)、消防相働候」と記されています。火災から本願寺を護ったのは、多くの人々の、生命を掛けた消火活動にあったことを今に伝えています。



元治元年7月21日 坊官・奉行人連署状「京地大燬大火二付一件書類」の内

そのような精神を受け継ぐとともに、御影堂の平成大修復工事に合わせて消防設備の拡充を行い、平成18(2006)年度から平成21(2009)年度に掛けて、機器の刷新を行いました。その内容は、警報設備としての自動火災報知・防犯設備を、そして、その警報設備に連動した消火設備を、境内各所に配置したものです。

総貯水量2,580トン、2機の大型ポンプと連結された放水銃54機、並びに屋内消火栓66機を境内各所に配置し、また、従来からの小型動力ポンプも3台保有しています。これらを扱うには、職員の意識高揚と技術習得が不可欠であるため、有事に備えて、日々、訓練等を行っています。



境内設置の放水銃

## 消防訓練の実施と警防

### ～消防訓練の実施～

平成24(2012)年11月から、本願寺では夜間消防訓練を定期的に行っています。これは、夜間勤務者のみで対応する訓練で、暗闇のなかで通報や消火作業に当たるものです。この夜間消防訓練を重ねることで、暗闇での消火活動や照明、無線などの機器、連絡網の徹底など、毎回課題や問題点を抽出し、改善を図っています。また、文化財防火運動に合わせ、下京消防署の指導の下、総合消防訓練も実施しています。

共に職員による初期消火、消火設備を使用しての消火・延焼防止、また、法宝物搬出や避難誘導など、保有設備を活用し、迅速な消火活動を行うための実践的な訓練で、参加した職員は使命と責任を新たに訓練を通じ、一つ一つの動きを確認し、適切な行動ができるよう心掛けています。

### ～自衛消防隊訓練大会への参加～

本願寺では、毎年9月に開催される「下京自衛消防隊訓練大会」に参加し、職員の消防技術の習得と防火意識の向上に努めています。大会では、すべての訓練種目に出場しています。また、飛地境内である東山区・大谷本廟(西大谷)も「東山自衛消防隊訓練大会」に参加しています。出場隊員は、概ね、各大会の2箇月前から練習を重ねます。昨年は、「京都市自衛消防隊訓練大会」に出場し、優秀な成績を納めることができました。



#### ～本願寺における警防～

平成17(2005)年9月2日に不審者が阿弥陀堂に乱入し、持ち込んだ灯油を散布して火を付けようとした事件がありました。火災にこそなりませんでしたが、各所に被害があり、本願寺を揺るがす大事件でした。

今年は、この事件からちょうど10年になります。

事件の記憶・教訓を風化させないためにも、これまで以上に警防の強化を進めています。

また、来年10月から再来年5月まで、第25代 専如門主の伝灯奉告法要80日間を修行いたします。国内外から来られる参拝の方々に安心・安全でお参りいただけるよう、より一層、精励してまいります。

#### 終わりに

観光都市である京都市では、大規模災害時に多数の観光客等が帰宅困難となることを想定し、災害時に帰宅困難者が一時的に利用できる施設の設定を進められています。本願寺では、その取組に賛同し、北境内地駐車を「緊急避難広場」として、同地に建つ聞法会館(研修・宿泊施設)を「一時滞在施設」として提供する協定を平成26(2014)年3月に京都市と結び、地域における防災施設としての役割も担っています。

平成27年  
10月号目次

#### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年10月号](#)  
平成27年10月号 担当区ぐグット紹介

## 平成27年10月号 担当区ぐグット紹介

ページ番号188300

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#) [シェア](#)

2015年10月1日



### 学区の紹介

松尾学区は、西京区の北西部に位置しており、学区の東部は宅地開発が進んで人口が増加しています。また、学区の西部の山辺には世界遺産に指定された苔寺として知られる西芳寺、鈴虫寺として有名な華厳寺、千年以上の歴史がある月読神社等の有名な寺社が並ぶ、風光明媚な地域です。

### 自主防災会の紹介

松尾学区自主防災会は、28自主防災部で構成されており、約4,700世帯の方々が住まれています。「防災行動マニュアル検討会議」のオブザーバーとして活躍されている荒木会長を中心に、各自主防災部長の方々と共に、防災訓練や普通救命講習、ブロックごとの消火実験会等、年間計画に基づき実施されており、学区民の防火・防災の意識が、年々、向上するように、変化や工夫をし、積極的に取り組まれています。

また、学区内に大きな被害をもたらした平成25年の台風18号を教訓に、水災害への対応力を高めるため、土のう作成訓練や土のう工法訓練を実施すると並行して、避難所運営マニュアルを早期に策定しました。平成26年の集中豪雨や今年7月の台風11号の際には、避難所運営マニュアルに基づき、いち早く避難所を開設するなど、学区民の安心・安全に大きく貢献しています。



松尾学区総合防災訓練の様子

### 消防分団の紹介

松尾消防分団は、小林分団長以下20名で、松尾学区の防火・防災活動に取り組まれています。地域の消火実験会には多くの団員が積極的に参加し、消防吏員と共に指導に当たっており、学区民の防火・防災力及び意識の向上に努めています。

また、学区の西部には松尾山があり、隣接消防分団と共に、年に1回、山火事を想定した山林火災訓練を実施し、ジェットシューターによる消火訓練、ホース延長や小型動力ポンプによる放水訓練を行っています。有事の際には、公設消防隊と共に災害対応に当たることができるよう、日々、訓練を重ねています。

小林分団長を中心に、ベテラン分団員から若手分団員まで、活発に意見交換ができるよう、家族のように和気あいあいと活動しています。



松尾学区では、松尾分団の日頃の地道な活動が成果を上げて、2年連続で無火災学区を達成しています。今後も学区民と共に、「無火災の松尾学区」を目指して、防火・防災の活動を続けていきます。

## 終わりに

松尾学区では、今後起きると予測されている南海地震や花折断層・櫻原水尾断層を起因とする地震に備え、松尾学区自主防災会と松尾消防分団が相互協力して、日頃から防火・防災訓練を実施しています。また、近年では、大雨や台風による災害も多く発生しており、日常の備えがいかに重要かを思い知らされました。こうした災害でも被害を最小限に抑えるため、普段から備え、訓練を繰り返し行っていきたいと考えています。

さらに、大規模災害だけではなく、身近に起こるかも知れない火災にも、地域住民や自主防災会、消防分団が一致団結して防火に取り組み、「災害のない松尾学区」を目指していきます。



## お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#)

[上京区](#)

[左京区](#)

[中京区](#)

[東山区](#)

[山科区](#)

[下京区](#)

[南区](#)

[右京区](#)

[西京区](#)

[伏見区](#)

## 平成27年10月号 ザ☆消防

ページ番号188299

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2015年10月1日



## はじめに

「ザ☆消防」の投稿依頼を引き受けることになり、新配置から現在までで印象に残っていることを書こうと思います。

## 駆け出しの頃

消防士として最初に配置になった消防署では、熱心な隊長の指揮の下、木造の建物をはじめ、様々な火災を想定した訓練を一日中行っていました。また、職場の上司や先輩の皆さんから、新人の私に厳しくいろいろなことを教えていただきました。

当務が明けた非番の日には、すぐに家に帰るのではなく、先輩たちと一緒に喫茶店でモーニングコーヒーを飲んだり、ボーリング大会やソフトボール大会などのスポーツや懇親会もたくさんあって、活気に満ちた職場でした。

今、思い返すと、和気あいあいとした中にもしっかりと消防士としての基礎作りができた時期でした。

## 心に残っている活動

新人の頃の消防活動についてお話しします。

ある年の正月に出動した火災のことです。現場に到着すると、民家が全面燃焼し、2階の窓からは数メートルの炎が噴出していました。隊長の指示で、背面の南側民家から進入すると、まさに、燃焼建物から南側民家の軒先へ火災が迫っている状況でした。すぐさま、当該民家への延焼を阻止するべく、無我夢中で、燃焼建物に向けて放水活動を開始しました。延焼建物にお住まいの方は、台所でボールに水を入れて建物に掛けたり、水道にホースをつないで、何とか我が家を守ろうと、必死に活動されていました。私たちの隊は、この方を避難させ、約半時間、放水活動を継続して、何とか延焼を阻止することができました。しかし、結果として出火建物は全焼してしまい、残念ながら、おばあさんがお亡くなりになってしまいました。

後で聞いた話では、出火建物はもともとおばあさんの一人暮らしで、お孫さんが泊まりに来られた翌日、火災が発生したようです。火災現場にはそのお孫さんが駆け付けられ、涙ながらに大声でおばあさんのことを叫んでいたとのことでした。

新人の私には、自分が目撃した必死で何とか火事を消そうとする市民の姿、そして、後日聞いたお孫さんの話が深く印象に残り、「災害で悲しむ人を1人でも減らす！」ことを、改めて心に刻む現場となりました。

## 現在の取組から

今、私は大徳寺消防隊の副隊長として勤務するなかで、現場活動だけでなく、学区の防災指導責任者としてのやりがいを感じ、日々の業務に当たっています。私の担当は紫野学区です。この学区は、京都市地域連携型空き家流通促進事業のモデル地域となっていて、空き家の状況調査と空き家の流通促進事業に取り組まれるなど、様々なことに熱心に取り組まれている地域です。

そんな中、紫野学区自主防災会の皆さんが中心となり、当該事業と「防火・防災」を絡めて、「防災まちあるき」を計画、実施し、次の事項を確認して回り、得られた情報を基に、町内単位で防火・防災地図を作成されました。

1. 細街路の状況(路地の幅員、避難経路の有無)
2. 沿道建築物等の状況(空き家、老朽家屋、危険なブロック壁)
3. 地域の集合場所の確認

その後、紫野学区自主防災会長から、防火・防災地図を活用してDIG(防災図上訓練)を近々実施したいとの電話がありました。私は今までDIGを実施したことがなかったため、どのように進めていけばいいのかわからず、正直、不安を感じました。それを察してか、会長や副会長が何度も出張所に来てくださり、また、分からないことがあればこちらからも積極的に出向くなどして、打合せの機会を十分に持ち、自分でも自信を持って、本番当日に臨むことができました。地域の方々にも、約2時間という長い時間、熱心に取り組んでいただき、無事に終えることが出来ました。

この出来事により、自分の取組姿勢だけでなく、関係する地域の方々との連携がいかに大切かを学びました。「防災指導責任者」という肩書が付いているものの、いろいろな面で教えていただくことがあり、自主防災会会長や副会長、また、一緒に取り組んだ出張所の同僚に感謝しています。



紫野学区自主防災会によるDIG（防災図上訓練）の様子

### これからに向けて

消防学校に入校してから十数年が経ち、一定の経験を積んではきましたが、「私自身あらゆる視点で現場を見ているか。」と「最大限の努力をしているか。」を、日々、自問自答しながら業務を進めています。今後も、災害現場における対応能力の向上と共に、地域の方々のニーズを踏まえた防火・防災力の向上のため、「災害で悲しむ人を1人でも減らす！」ことを胸に活動していきます。



▲右端が筆者



▲後列右側が筆者

平成27年  
10月号目次

#### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課  
電話:075-682-0119  
ファックス:075-671-1195

#### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)



## 平成27年10月号 あの日あの頃

ページ番号188832

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#) [シェア](#)

2015年10月1日

## あの日あの頃

体験からの、避難誘導の  
ちょっとした注意点

中京消防署 藤原 収

「私も「あの日あの頃」の原稿を書く年齢になったのか。よく、30年余り、消防吏員としてやってこれたな。」と思い、これも、今は定年退職された諸先輩方のお陰と感謝しています。

この原稿を書くに当たって、何を書けばよいのか迷いましたが、要救助者を安全に避難させるために気付いたこと、それ以来、そのことで確認していることについて述べさせていただきます。

私は、消防学校を卒業し、東山消防署に配属となり、それから2年後、泉涌寺消防出張所に配属となり、一応、自分では「一人前になった」と思っていた頃でした。確か11月頃だったと思います。当時はまだ、出動指令は人的操作による長一点の信号の後、地区別出動の音声指令で出動していました。出張所で執務中に、「第77南地区〇〇・・・」の出動指令が流れ、出動しました。

「2階建てアパートの2階から出火し、出火室の家人は避難したもよう。」との無線を傍受し、現場到着したところ、2階の端の部屋の窓から火炎が噴出していました。隊長は、「F3、第2出動要請」の無線発信を行い、状況を確認するために現場へ急行し、我々隊員は消火栓に水利部署し、我を忘れて放水活動をするべしで活動していました。そのアパートは違反建築物で片側にしか階段がなく、鉄骨造り中廊下式で階段の反対側にある奥の部屋からの出火でした。2階に進入し、放水をしようとしたときが火災の最盛期で、狭い廊下は炎でいっぱいになり、懸命の放水活動をしていました。消火残水は熱湯となり、廊下が川のようになっていました。当時は、防火服の下は銀長靴を履いていましたので、足元から熱気を感じる程度でした。その放水中に、階段が一番近い部屋のドアが開いたのです。放水することに必死で、要救助者検索のことが私の頭の中から抜けていたのです。40代の男性だったと記憶していますが、「なぜ逃げなかったのか？」と混乱する頭でその人に理由を聞くと、「煙と炎で前が見えず、熱いため、様子を見ていた。」とのことでした。私は「至急、避難して、安全な所に行ってください。」と言いました。そのときには、やや火勢が弱まり、肌を感じる熱さも若干、収まってきたので、私は「行けるだろう。」と判断しました。

しかし、その人はドアから出て2～3歩の所で、「熱い。」と言って、また、自室に戻ってしまいました。「どうしたんですか？」と私が聞くと、その人は、「流れている水が熱くて歩けない。」と訴えてきました。足元を見ると、サンダル履きだったのです。私たちは、先ほど述べたように銀長靴を履いていたので、足元に流れる消火残水が熱湯になっていてもその熱さは気になる程ではなかったため、気付けなかったのです。

「長靴はありませんか？」と男性に聞くと、「長靴は持っていない。」と言われました。「では、革靴でもいいです。」と、再度、尋ねると、「革靴なら持っている。」と言われたので、「革靴を履いてください。何か、足場を探しますから、少し熱いですが、我慢して、1階まで避難してください。」と告げました。それで、ようやく、その方は1階まで避難することができました。私が最初に足元に注意を払い、サンダル履きではなく、靴を履くように伝えていれば、その方はもっと早く避難できたのです。

それから私は、避難誘導を行うときは、靴を履いているかどうかを注意深く見るようになりました。また、服装も見るようになりました。そして、自分自身の災害時の服装も、しっかりしていなければ市民の生命を守ることはできないと、感じた災害がありました。

私も、消防吏員として勤務するのはあと数年になりましたが、後進の若い隊員に私の体験談を伝えて、私よりも立派な消防吏員としてやっていってほしいと願っています。



昭和58年頃  
東山消防署にて



昭和58年頃  
東山消防署にて

平成27年  
10月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる